

# 高分子構造・物性解析の基礎と最新分析技術

1名分料金で  
2人目無料～ポリオレフィンを中心とした複雑組成材料の評価アプローチ～ **【LIVE配信】**

- ◆日時: 2026年6月8日(月)13:00～15:00
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料: 1名につき33,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。  
・1名でお申込みされた場合、1名につき27,500円(税込)  
・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で33,000円(税込))

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: (株)三井化学分析センター 営業統括部 東日本営業グループ プロジェクトリーダー 山之上 巧 氏

### 【習得できる知識】

ポリオレフィン材料の分子構造と諸物性との関係性や分析評価技術に関する基礎知識

### 【趣旨】

ポリプロピレン(PP)やポリエチレン(PE)をはじめとするポリオレフィン材料は、自動車、医療、家電、住宅、日用品、食品包装に至るまで、その用途は多岐に渡る。近年では樹脂材料の高機能化が飛躍的に進み、それに伴い樹脂組成が複雑化してキャラクター化が困難となっている現状がある。

また、最近では欧州を中心にプラスチックリサイクルが急速に進んでおり、キャラクター化がさらに難しさを増している。このような複雑な組成を有する樹脂材料は、従来のIRやNMRだけでは組成解析が困難なケースが多々ある。これには頭を抱えている研究者も多いのではないだろうか。

本セミナーでは、主としてポリオレフィンを対象とした樹脂材料の構造と物性、添加剤分析について、これらの関係性や最近の技術動向も交えて紹介する。

### 【プログラム】

1. 高分子の分子構造と諸物性との関係  
分子構造の違いが  
樹脂の成形加工特性や成形品の性能をも左右する
2. ポリオレフィン材料の分析・評価技術
  - 2-1 一次構造解析 (IR, NMR)  
ポリマー種の同定、共重合組成、立体規則性
  - 2-2 組成分布解析 (高温液体クロマトグラフィー)  
分子量分布、短鎖分岐度、長鎖分岐度
  - 2-3 溶解物性 (レオロジー特性)  
動的粘弾性、一軸伸長粘度
  - 2-4 形態観察 (モルフォロジー)  
ポリマーの相分離構造、ゴムの分散状態など
  - 2-5 添加剤分析  
前処理、定性分析、定量分析

【質疑応答】

### 【LIVE配信セミナーとは?】

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた (<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL (<https://zoom.us/test>) から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

## 『高分子構造・物性解析【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>